

◎ 使命「最高の品質で社会に貢献」とブリヂストンDNA

ブリヂストンは、1931年の創業以来、「最高の品質で社会に貢献」を不変の使命として、変わりゆく社会のニーズに対応し、「品質へのこだわり」「現物現場」「お客様の困りごとに寄り添う」「挑戦」というブリヂストンDNAは、その歴史の中で培わ

Bridgestone 1.0

創業 —

1931-

創立

20世紀初頭、自動車産業の発展と共に、欧米のタイヤメーカーが隆盛しましたが、日本では英米系の技術や資本に頼っている状況でした。このような状況下で、創業者石橋正二郎は、日本におけるモータリゼーションを確信し、「日本人の資本で、日本人の技術によるタイヤの国産化」に「挑戦」しました。様々な技術的な「挑戦」を経て、1930年に第1号の「ブリヂストンタイヤ」が誕生し、1931年3月1日に福岡県久留米市にて「ブリヂストンタイヤ株式会社」が設立され、現在のブリヂストンへと繋がっています。

創業当時から海外進出を視野に入れており、商品イメージや海外市場での通用性といった点から、創業者の姓を英訳・語呂を良くし、社名・商標名「ブリッチストン」としました。その後、創業の地である福岡県久留米市から日本へ事業を拡大すると共に、創業の翌年には、アジアへも輸出を開始しました。創業から、日本、アジアの人々の安心・安全な移動、モータリゼーションを支え続けたことで、現在、アジア地域はブリヂストンの第2のホームマーケットとなっています。そして、困難なことに「挑戦」し、「品質にこだわり」、「現物現場」で「お客様の困りごとに寄り添う」というブリヂストンDNAは、創業期から変わらず、現在も受け継がれています。



第一号タイヤの誕生

一人ひとりの安心・安全な移動や暮らしを支え続けるために、事業を拡大・進化させてきました。
れてきたものです。

1968-

デミング賞実施賞受賞と 社是「最高の品質で社会に貢献」の制定

「デミング賞実施賞」受賞

1960年代、ブリヂストンは、経営の近代化と品質管理活動を推進し、1964年には、その活動を独自に「デミング・プラン」と名付けました。「良い品質の製品は、良い体質の会社から生まれる」を基本思想として、全社的な企業体質改善の取り組みを開始し、1968年、卓越した品質管理を実施している企業に与えられる「デミング賞実施賞」を、タイヤ業界で初めて受賞しました。



デミング賞実施賞メダル



デミング賞実施賞を受賞(1968年)

社是「最高の品質で社会に貢献」

デミング賞実施賞受賞と同年、「最高の品質で社会に貢献」を社是として制定しました。この社是には、「永続する事業とは、社会に貢献する事業である」という創業者の事業観が反映され、現在のブリヂストンにおいても、不変の使命として受け継がれています。ブリヂストンDNAの一つ、「品質へのこだわり」はこのような経営品質向上に向けた活動の中で、培われてきました。

最高の品質で
社会に貢献
社是
石橋正二郎

社是制定(1968年)

Bridgestone 2.0

第二の創業 —

1988-

グローバルブリヂストンへの「挑戦」

米国第2位のタイヤメーカー、ファイアストーン社を買収北米への本格進出を目指し、当時、米国第2位のタイヤメーカーであったファイアストーン社を買収しました。買収額は約26億ドル(約3,300億円)で、当時の日本企業の海外企業買収額としては最大の規模でした。この買収によりブリヂストンはタイヤの世界シェアTOP3に名を連ねることになります。ブリヂストンのグローバル化への道、ジャーニーが始まりました。ブリヂストンとファイアストーン、二つの異なる企業文化の融合など、多くの困難を克服しながらグローバル企業へと進化していきました。

Firestone

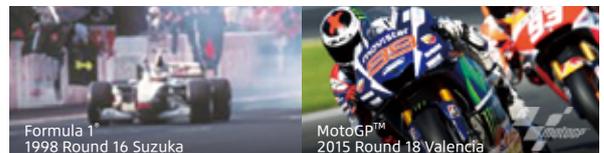


ファイアストーン社買収(1988年)

1997

モータースポーツの最高峰 F1® 参戦

ブリヂストンは1963年の第1回日本グランプリからモータースポーツ活動を開始しました。挑戦の舞台を世界に広げ、1997年には、モータースポーツの最高峰であるF1®へ参戦しています。翌1998年には、ブリヂストンのタイヤを使用するチームが年間チャンピオンを獲得しました。その他、ファイアストーンブランドで1995年に米国INDYCAR® SERIESへ復帰、二輪の世界最高峰レースであるMotoGP™にも2002年に参戦しました。この「極限への挑戦」が、ブリヂストンをグローバルプレミアムブランドへと押し上げ、現在のプレミアムタイヤ事業の基盤となっています。



Formula 1®
1998 Round 16 Suzuka

MotoGP™
2015 Round 18 Valencia

Formula 1® 1997-2010

MotoGP™ 2002-2015

2000 -

Bridgestone 3.0 へ向けて、 ソリューション事業の展開を開始

「現物現場」で「お客様の困りごとに寄り添い」ながら、タイヤを「創って売る」から「使う」へと、お客様がタイヤを使う段階で断トツ商品の価値を増幅し、困りごとを解決するソリューション事業へと事業領域を広げました。

2007

リーディングリトレッド*カンパニー、 バンダグ社を買収

お客様の生産性・経済価値の最大化に加え、サステナビリティへの貢献が高いリトレッド事業をグローバルに展開している米国のバンダグ社を買収し、ソリューション事業展開への基盤を整えました。現在、リトレッドはソリューション事業の中核として拡充しています。

*リトレッド：お客様が使用されたタイヤのすり減った表面（トレッド）部分のゴムを貼り替え、再び使用可能となったタイヤを提供



2019

欧州におけるリーディングデジタルフリートソリューションプロバイダー、Webfleet Solutions (旧 Tom Tom Telematics) を買収

デジタルを活用したフリート（運送）ソリューションの展開を開始しました。ブリヂストンの持つタイヤの知見に、モビリティデータ・タイヤデータを組み合わせることで、新たな価値を提供しています。



Bridgestone 3.0

第三の創業 —

2020 -

Bridgestone 3.0 : サステナブルなソリューションカンパニーへ

2020年を初年度とした「第三の創業」Bridgestone 3.0では、サステナビリティを経営の中核に据えた中長期事業戦略構想を発表し、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」をビジョンとして掲げました。サステナブルなソリューションカンパニーとして、持続可能な社会の実現を支え、企業としても持続的に成長し、価値を提供していける会社への変革へ挑戦していきます。このジャーニー、道のりをBridgestone 3.0 Journeyとして歩みを進めています。

Bridgestone 3.0 Journey Vision

2050年 サステナブルな
ソリューションカンパニーとして、
社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ

2022

企業コミットメント

「Bridgestone E8 Commitment」を制定

ビジョンの実現へ向けた変革を加速するため、未来からの信任を得ながら経営を進める軸として、創立91周年とな



る2022年3月1日に、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」を制定しました。Bridgestone E8 Commitment は、当社の使命、大原則「タイヤは生命を乗せている」、ブリヂストンDNAを反映し、ビジョンを具体化したものです。ブリヂストンらしい「E」で始まる8つの価値を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創造し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

22年8月「2030年 長期戦略アスピレーション (実現したい姿)」発表

事業環境の変化が連続して起こり、予測困難な「変化が常態化」する時代を生き抜くため、2030年に実現したい姿として描いた「2030年 長期戦略アスピレーション (実現したい姿)」を発表しました。これを、2031年の当社創立100周年へ向けた道筋、北極星に据え、常態化する変化に動ぜず、ゴムのように強靱でしなやかに、変化をチャンスに変えるレジリエントな「エクセレント」ブリヂストンへの変革を加速しています。

● 2030年長期戦略アスピレーション (実現したい姿) : 戦略マップ



2024

中期事業計画 (2024-2026) — 24MBP発表

24MBPは2030年「長期戦略アスピレーション」を道筋・北極星に、事業環境の変化点や中期事業計画 (2021-2023) - 21MBPの残課題・表面化した新たな課題を踏まえて策定しました。「経営・業務品質の向上を追求する情熱 “Passion for Excellence”」を経営スタンスに、価値創造へ、よりフォーカスしていきます。